

7月22日(月)

優しい心と強い足

聖書朗読 ルカ 3:1~12

ところが、あなたは、かたくなさと悔い改めのない心のゆえに、御怒りの日、すなわち、神の正しいさばきの現われる日の御怒りを自分のために積み上げているのです。
ローマ 2:5

最近、二人の孫がある生徒が3階から自殺を試みて飛び降りたのを目撃してしまいました。それは二人にとって大変衝撃的な出来事でした。特に、その生徒がどれほど絶望し、自分が愛されていないかと感じていたのかと思うとやりきれない思いになりました。

知恵のある者は、悲劇の中にいるときこそ、優しい心と強い足を持つことを学ぶと言います。知恵のあるものはまた言います。多くの場合が逆で、人々は悲劇の中にいると、感情をブロックし、助けを拒み心を頑なにしていきます。そして、恐れあまり、まだ歩ける足を止めてしまい、足は弱まります。聖句(Iサムエル 6:6, マタイ 19:8, マルコ 16:14)の多くで、人々は心を頑なにし、怒りを溜め込み、健康的な暮らしができる可能性を奪っていると言っています。

この悲劇的な出来事の数日後、孫たちは何か役立つことがしたいと思ったようです。次の日がバレンタインデーでしたので、孫たちは校長に許可をもらい、学校のいたるところにある生徒たちのロッカー全てにハートの形をした付箋に「あなたは愛されています」と書いて貼りつけました。孫たちは、その付箋を見た生徒たちの笑顔と好意的な反応を見て気持ちが安らいだそうです。孫たちは、生徒たちの心が和らぎ、この悲劇を忘れないよう願いました。そして、同時に、彼らが強い足を持ち、彼らの未来のために神様が用意してくださっているものを見るために、この先も歩き続けられるよう願いました。

聖歌 278

祈り 親愛なる主。悲劇の中や困難に見舞われているとき、優しい心と強い足を持つことを学ぶことができますように。あなた様の癒しの御力に、心より感謝いたします。あなた様の癒しによって私たちは日々あなた様と共に歩み続けることができます。

イエス様の御名によって。アーメン。

スーザン・K・ギボニー
カリフォルニア州 マリブ

今日の方

2013年7月22日~7月28日

翻訳 阿部やよい

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

7月23日(火)

聞きなさい

聖書朗読 マルコ 4:1～9

そしてイエスは言われた。「聞く耳のある者は聞きなさい。」

マルコ 4:9

聴覚は、私たちのほとんどもを楽しませてくれる五感の一つです。考えてみてください。あなたは今まで何を聞いてきましたか？ 結婚式で愛する夫となる人が言った誓いの言葉を聞いているかもしれないし、生まれたばかりの子供が病院から家に帰る途中で初めて泣いた声を聞いているかもしれないし、仕事に向かう車の中で大好きな賛美歌を聴いているかもしれないし、あなたの子どもや孫が少年野球の試合でヒットを打ったときのバットが裂けた音を聞いているかもしれません。そして、一番素敵なこと、それは愛する人が皆の間で言った「イエスキリストが神の御子であることを信じます」という告白の言葉かもしれません。

今日の聖句では、私たちは命の真理を聞きました。あなたは、まずそれを聞き、行いをもってそれに従うのです。いつの時代も、全ての人が聞くわけではありません。しかし、神は愛であり、イエス様は私たちを赦すためにおいでになられ、蘇られる、これを心から聞くとき、人々は成長するのです！

今日、あなたの耳に入ってきた言葉を聴いてください。あなたの口からでた言葉を聴いてください。イエス様は、聞くことは、イエス様の御力によって命を与えられ、よい行いと愛情溢れる振る舞いから得られた美しい作物の収穫の始まりであるとおっしゃっておられます。さあ、聞きましょう！

讚美歌 229

祈り お父様。聴覚を私たちに与えてくださったことに心より感謝申し上げます。鳥の歌声、子どもの笑い声、信仰の告白。この人生の中で、私たちが見るだけでなく聞くことができる美しいもの全てに感謝いたします。あなた様の御言葉を通して、周りの人々の口を通して、日々見ることのできるあなた様の祝福を通して、あなた様の御声を聞くことができますように。

イエス様の愛によって。アーメン。

ブレンダ・ヤング

ホンデュラス コロン

7月24日(水)

何とも思われないのですか？

聖書朗読 マルコ 4:35～41

イエスは起き上がって、風をしっかりとつけ、湖に「黙れ、静まれ」と言われた。すると風はやみ、大なぎになった。 マルコ 4:39

イエス様の弟子たちは、恐ろしい嵐の中、彼らの主が眠っておられることに気がつきました。波が船を打ちつけ、弟子たちは船が沈んでしまうのではないかと恐怖におののきました。なので、弟子たちはイエス様を起して言いました。「先生。私たちがおぼれて死にそうでも、何とも思われないのですか？」

あなたが嵐の中にいるのにイエス様は寝ておられ、あなたが抱えている問題や味わっている痛みや悲しみの中におぼれていることに、イエス様が何も思われていないのではと思ったことはありませんか？

イエス様は起き上がって嵐をしっかりとつけただけではなく、弟子たちの恐怖心と信仰のなさをしっかりとつけました。イエス様は決して眠ってなどおられません。イエス様は決して私たちのことを何とも思わないことはない、知るべきです。『私の助けは、天地を作られた主から来る。主はあなたの足をよろけさせず、あなたを守る方は、まどろむことはない。』(詩篇 121:2～3)

恐怖が、あなたに疑いを起させ、疑いが、神様の存在を忘れさせます。覚えておいてください。

風も波もあなた様の御心にひれ伏す。
静かになれ！ 暴風に荒れる海や悪魔や人
それ以外の怒りがどんなものであろうとも
主の海、地、空に浮かぶ船は
決して飲み込まれることはない。

—————メアリー・A・ベーカー

讚美歌 第二編 37

祈り 親愛なる主。どうか私を嵐の中から救い出し、私を取り巻く荒れ狂う海を鎮めてください。主よ、全てはあなた様の手中にあることを知っています。そして、あなた様は、荒れ狂う波風を乗り切れるよう私をお助けくださいますことも知っています。どんなに試練が長くとも、あなた様は私たちのことをいつも気にかけてくださっていることを決して疑わないようにお導きください。

イエス様の御名によって。アーメン。

デービッド・バーデン
ミズーリ州 セントルイス

7月25日(木)

間 違 い を 犯 す

聖書朗読 マルコ 7:24~30

また、私の神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たしてください。ピリピ 4:19

4年ほど前、私は「かぎ針編みのやり方」という本を読んで、かぎ針編みを独学で学びました。

私はやる気満々で、2番目の子どもが生まれる前には美しい赤ちゃん用のブランケットを仕上げることができました。その後数年間で多くのものを作ったあと、友人にネットに無料の型紙がでていることを教えられるまで暫くの間かぎ針編みをやめていました。ネットには素敵なジャケットの型紙がありました。それは簡単にでき、一度に2色の色を使って、余り毛糸で作ることができると書いてありました。作り方の説明はいまひとつ分かり難かったけれど、なんとか編み進めることができました。

私は特別なアフガン針を買い、チュニジア編みについても学びました。何時間かけてジャケットを作りあげました。しかし、片方の袖がもう片方より長いことに気がついてしまいました。長いほうをまくりあげてみたり、内側に折りこんでみたり、長い部分を切ってみたり、短いほうに縁取り布を足してみたりと何度も修正を試みました。結局、この度重なる失敗のおかげで着ることのできないジャケットとなってしまうました！

取り繕うと必死になるあまりに、間違いを犯してしまったことはありませんか？ このスロ・フェニキヤの女性は、イエス様に助けを求める際に、文化の違いから生じる大失態を演じてしまいました。

しかし、イエス様が唯一の希望であることを彼女は知っていました。謙虚な気持ちを持ったままの自暴自棄が彼女に再びイエス様をお願いをさせました。イエス様は彼女の娘を癒されました。

讚美歌 524

祈り 親愛なる主。一分一秒、肉体的にも精神的にもあなた様が必要です。御国からの導きと癒しに心より感謝いたします。

イエス様の御名によって。アーメン。

ケーシャ・ウィンザー

カリフォルニア州 サンディエゴ

7月26日(金)

誰も「ありがとう」とは言いませんでした

聖書朗読 ルカ 1:46~56

わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。

ヨハネ 10:10

9月のある肌寒い夜、汽船レディ・エルジンはシカゴの港に向かっていました。船は明るく照らされていました。そしてもう少しで港に着くというところで、突然船は沈み始めました。港にいた人々は悲劇を目のあたりにしました。

二人の兄弟がロープを手に、人々をかき分けながら走ってきました。兄のナットは泳ぎが得意だったので、海へと飛び込んでいきました。沈んでいく船にたどり着くのに、波をかき分けちょっとずつ進んでいくしかありませんでした。しばらくしてから、まるでヘラクレスの腕力で、力強いナットは女性を助け出しました。港にいた人々の手でその女性は岸へ引き上げられました。ナットは息も切れ切れで体も冷え切っていましたが、それでも彼は強健でした。彼は何度も何度も飛び込みました。

結局ナットは23人もの命を救いました。ナットはその後数週間別病院のベットで過ごさなければなりませんでした。その間、彼が救った23人はそれぞれの家に戻っていきました。彼らはナットに感謝していたに違いありません。でも、誰一人としてナットにお礼を言うために病院に戻ることはありませんでした。誰一人、感謝の手紙さえも送った者はいませんでした。

確かに私たちは、全ての祝福の源、私たちを罪から解放して下さるために命を捧げてくださった御方に感謝はしてはいます！ してはいますが・・・

讚美歌 第二編 56

祈り お父様。あなた様の愛に満ちた親切に心より感謝いたします。救いの祝福と私たちの罪から救い出してください。くださったイエス様の献身に心より感謝いたします。

イエス様の御名によって。アーメン。

エディ・C・ルイス

ミズーリ州 オリーブブランチ

7月27日（土）

目に映る物だけでなく

聖書朗読 ルカ 2:6～21

男子の初子を産んだ。それで、布にくるんで、飼葉おけに寝かせた。宿屋には彼らのいる場所がなかったからである。
ルカ 2:7

19年前の午前0時23分、私たちの最初の子どもが分娩室3号で生まれました。それは人生を変える出来事でした！ この新しい命の誕生の瞬間から、全てのものが違って見えました。

しかし、病院関係者にとっては、この日もいつもとかわらない一日でした。朝仕事場に帰ってきた彼も、仕事から家に帰っていく彼らも、何もかわりがありません。私たちにとっては特別で神聖な出来事だけれども、それが日常である彼らにとっては、何かを変えるものではないのです。私たちは、雨や木や日の出を特別なものとして見ることはないでしょう。それは常に私たちの周りにあるからです。命そのものへの畏怖の念は、それを神聖で特別なものとして見なくなったとき、徐々に薄れていくのです。

確かにこれはキリストの誕生でした。でも、「ただの子ども」の誕生だと思われたに違いありません。しかし、この「ただの子ども」の誕生を告げるために御使いたちのコーラスが羊飼いに注がれました。羊飼いが群れを離れ、「ただの馬小屋」にひざまずきに行くことは普通のことではありません。彼らはこの子供が聖なるものであることを知っていたのです。他の者はただ通り過ぎたに違いありません。

そして今でも、この驚くべき誕生、命、死、そして復活は私たちの生活の中に広がり、全てを変えています。しかし、多くの人がこれに気がついていないのです。

私たちが見る目を、聞く耳をもつのなら、神様は、私たちの「ただの」を「ハレルヤ」にかえてくださいます。

讃美歌 第二編 161

祈り 創造主。命を、美を、見る目を、聞く耳をお与えくださり感謝いたします。目に見えるもの全てに対して、頭をたれて賛美いたします。

イエス様の御名によって。アーメン。

アンディ・ウォール

カリフォルニア州 オークパーク

7月28日（日）

イエス様を驚かせたこと

聖書朗読 ルカ 7:1～10

これを聞いて、イエスは驚かれ、ついて来ていた群衆のほうに向いて言われた。「あなたがたに言いますが、このようなりっぱな信仰は、イスラエルの中にも見たことがありません。」
ルカ 7:9

あなたを驚かせたことって何ですか？ ガス料金？ 授業料？ 高性能な望遠鏡で覗いた夜の空？ 横暴な人の厚かましさ？ イエス様にとっては、謙虚な人が持つ信仰でした。

ユダヤ人の長老たちが、しもべを癒してもらいたくて、お願いにイエス様のもとにやってきました。長老たちは、そのしもべの主である男はイエス様に救っていただく資格がある者だと信じていました。当時ユダヤ人は異邦人よりも優れていると思われていたのですが、この男はユダヤ人よりも優れていると思われていたローマの百人隊長でした。この男は、国民を愛し、彼らのために会堂を建てました。

結局、イエス様は長老たちのお願いを聞いて、彼らについて行きました。百人隊長の家からあまり遠くない所までやって来たとき、百人隊長は友人たちを通して、『あなたを私の屋根の下にお入れする資格は、私にはありません。』と伝えました。そしてさらに『おことばをいただきかせてください。そうすれば、わたしのしもべは必ず癒されます。』と言いました。

イエス様はこの百人隊長の信仰に驚かれました。私たちのこの世の立場が何であれ、イエス様は私たちの必要を満たすことを望んでおられます。このことを知る信仰を持つためには謙虚が必要です。私たちがよい行いをしたから、イエス様にお願いをするわけではありません。共にいてくださるよう謙虚にお願いをしたとき、イエス様は私たちの言葉を聴いてくださいます。

讃美歌 268

祈り 聖なるお父様。あなた様の子どもにさせてくださるためにイエス様をお送りいただき感謝いたします。聖霊を通してお導きください。私たちの信仰を深めてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

メアリー・エステス

カリフォルニア州 サウザンドオークス